

# 京都の地域創生

科目等

教養教育科目／総合教育科目(選択) 1回生配当 単位:2単位(後期)  
平成29年度履修登録者:207名

授業の目標

地域には自然とともに生きる知恵と工夫が共同のしくみによって蓄積されている。過疎・高齢化、都市間格差など様々な地域の課題を解決していくため、地域の自然、歴史、文化などの地域資源を基礎としながら、新たな変革の要素として六次産業や社会的企業・地域デザインなどの知識と技法を学び、個別分野や領域を超え、地域を創生していく能力を修得する。

29年度	担当	テーマ/地(知)の案内人の紹介	★TV遠隔システムによる 中継拠点
第1回	田中	地域創生学とは ー地域創生の成功事例①ー	
第2回	田中	地域創生学とは ー地域創生の成功事例②ー	
第3回	田中	地域振興ビジネスの基礎① 経済・社会・市場競争的視点、動物と人間の違い	 <p>宮津市の地(知)の案内人の皆さん</p>
第4回	田中	地域振興ビジネスの基礎② 物流的・季節変動的・情報戦略的視点	
第5回	田中	都市と中山間地域との関係地産地消、 6次産業化、京野菜、観光、バイオリージョン	
第6回	奥谷	地域空間計画① ー地域資源を生かすー	★株式会社 きぐすりや (南丹市美山町)
第7回	奥谷	地域空間計画② ー歴史文化を生かした町づくりー	★ハチハウス (宮津市)
第8回	奥谷	地域空間計画③ ーアートを生かした地域づくりー	★NPO法人里山ねっと・あやべ (綾部市)
第9回	奥谷	地域空間計画④ ー棚田の自然を生かした地域づくりー	★有限会社 アリアソシエイツ (与謝野町)
第10回	奥谷	府内市町村による地域創生① 各市町村担当者による報告 (宮津市企画政策課職員)	★NPO法人 地球デザインスクール (宮津市)
第11回	奥谷	府内市町村による地域創生② 各市町村担当者による報告 (舞鶴市企画政策課職員)	★株式会社 DIY STYLE (舞鶴市)
第12回	奥谷	府内市町村による地域創生③ 各市町村担当者による報告 (京丹後市企画政策課職員)	★つねよし百貨店 (京丹後市)
第13回	奥谷	地域創生のスキルを磨く① グループワーク 「地域創生とは何か」ディスカッション	 <p>グループワークの様子</p>
第14回	奥谷	地域創生のスキルを磨く② グループワーク 「各グループ発表」(35グループ)	
第15回	田中 奥谷	まとめ 講義の振り返り 学生チームによるプロモーションビデオ紹介	



## 「京都の地域創生」を学ぶにあたって

田中 和博

生命環境科学研究科 教授

土地と空間の違いを意識したことはありますか？

地域にはそれぞれ個性が

あります。風土による違い、社会インフラの整備状況による違い、そして、それらの自然環境および社会環境の中で育まれてきた歴史・文化による違いなどです。また、生活するということは、それぞれの地域において、何らかのエネルギーを使って、資源を循環させる仕組みを継続的に運営することです。地域創生の取り組みには、これが正解という答えがある訳ではありません。それぞれの地域が置かれている状況や、持っている能力や技術によって変わっていきます。地域創生について学ぶことは、生き抜く力を学ぶことでもあります。



## 飛び出せ地域へ

奥谷 三穂

COC+ 特任教授

講義では、自然資源・歴史・アートといった特色を生かした地域創生の事例を紹介した後、北部の各市

の職員の方をお招きし、各市の地域創生の具体的な取組についてお話をいただきました。また、各地域の「地(知)の案内人」の皆さんと講義室をテレビ会議システムでつないで交流をしました。最後には、各自が希望する地域創生フィールド演習のグループに分かれてワークショップを行い、地域創生とは何かについて発表をしました。地域という人口減少や過疎化など、マイナスのイメージでとらえがちですが、地域は豊かで元気です。

まずは五感で感じとってほしいと思います。

